

エコアクション21 2023年度 環境経営レポート

(対象期間:2023年8月1日～2024年7月31日)



環境ハーモニー
人と大地の調和を育む



株式会社 松本組

発行日: 2024年8月31日



®環境省
エコアクション21
認証番号0007923

目次

1. 環境経営方針	…	P3
2. 会社概要書	…	P4
3. 実施体制	…	P5
4. 環境経営目標・実績	…	P6
5. 環境活動計画の取組結果・評価・次年度の取組内容	…	P7
6. 環境関連法規等の遵守状況	…	P8
7. 代表者による全体の評価と見直し・指示	…	P9
8. 環境への取り組み	…	P10

1. 環境経営方針

基本理念

株式会社 松本組は、「環境ハーモニー・人と大地の調和を育む」をコーポレートスローガンに、省資源・省エネルギー化に努め、地球に優しい企業活動に努めます。

行動指針

1. 建設事業に伴う環境負荷の低減に努めます。
 - (1) 電力及び燃料の使用による二酸化炭素排出量の削減
 - (2) 廃棄物排出量の削減
 - (3) 水使用量の削減
2. 建設事業を通じて環境改善に努めます。
 - ①環境にやさしい施工や工法の採用
 - ②再生資源の積極的利用
3. 関係する環境法規等及び地元との約束を遵守します。
4. 本方針を全従業員及び協力会社社員に周知させ、社外へも公開します。
5. 環境経営システムの継続的改善を図ります。

改訂日：2019年 11月 27日



株式会社 松本組
松本 早正

2. 会社概要書

1. 会社の概要

(1) 事業所名及び代表者氏名

株式会社 松 本 組
代表取締役 松本 早正

(2) 所在地

本 社 兵庫県朝来市伊由市場514番地1号
資材倉庫 兵庫県朝来市立脇81番地
資材置場 兵庫県朝来市川上296番地の1
資材置場 兵庫県朝来市多々良木314番地
宅地造成地 兵庫県朝来市立脇66番地

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者兼担当者 土木部部长 井上 喜仁
連絡先 TEL:079-678-0226
FAX:079-678-1255

(4) 事業年度 8月～翌年7月末

(5) 事業規模

法人設立 明治33年4月1日
資本金 3,000 万円

項 目	単位	2023年度	2022年度	2021年度
工事件数	元請	54	37	20
	下請	3	2	1
完成工事高	百万円	1,631	2,094	1,630
従業員	人	23	27	27
事務所床面積	m ²	680	680	680
倉庫床面積	m ²	615	615	615
資材置場面積	m ²	8,150	8,150	8,150

(6) 主な環境負荷の実績

項 目	全社排出量				備考
	2023年度	2022年度	2021年度	単位	
二酸化炭素総排出量	191,155	285,166	138,506	kg-CO ₂	全社計
廃棄物排出量	3,674.6	900.9	332.3	トン	
一般廃棄物	1.09	0.972	0.967	トン	
産業廃棄物	3,673.51	900.2	331.3	トン	
水使用量(工業用水は含まない)	312	375	629	m3	本社及び各建設現場合計

2. 認証・登録の対象範囲

(1) 認証・登録の対象組織・活動

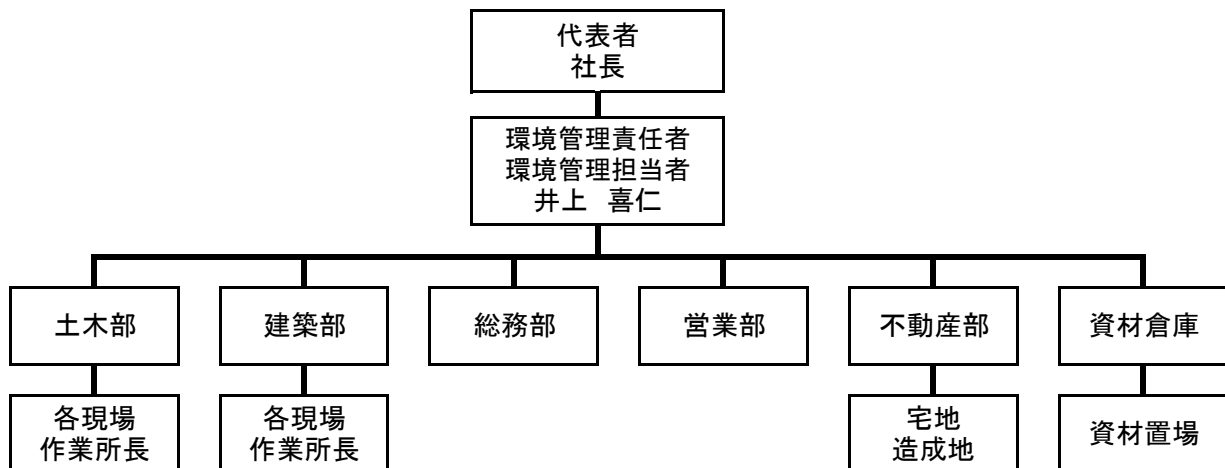
登録組織名 株式会社 松本組
対象事業所 本社 ※全組織・全活動を対象
事業活動 土木工事業、建築工事業及び不動産業

3. 実施体制

エコアクション21の実施体制は下記の通りです。

(1) 組織図

2024.8.31現在



(2) 役割・責任・権限

	役割・責任・権限
代表者 (社長)	①代表者として環境経営全般に関して責任と権限をもつ ②環境経営方針を策定し、従業員に周知させる ③資源(人・もの・金)の用意をする ④エコアクション21全体の取組状況に関し評価、見直しを実施する ⑤環境管理責任者、環境委員等を任命する ⑥環境経営レポートを承認する
環境管理責任者	①エコアクション21建設業向けガイドラインの要求事項を満たす環境経営システムを構築し、実行し、環境面の実績を向上させる ②上記の結果を社長に報告する ③EA21文書類の承認をする ④EMS全般の舵取りを行い、実行を推進する ⑤環境経営レポートを作成する
部門長 及び 全従業員	①自部門の環境経営目標、環境経営活動計画の達成と実績の把握を行う ②環境経営方針、自部門の環境経営目標、環境経営活動計画を部門全員に周知する ③自部門に関連する法規制等を順守する ④自部門の教育・訓練を実施する ⑤社内外の環境情報の収集と伝達をする ⑥自部門の緊急事態への準備及び対応の訓練を実施する
作業所長	①作業所におけるEA21実行責任者を兼ねる ②作業所の環境経営目標、活動計画の達成と実績の把握を行う 他

4. 環境経営目標・実績

No.	環境目標	単位	基準値 過去3年 平均	2023年度 (2023/8/1～2024/7/末)			今後の目標	
				目標	実績	達成(率)※4	2024年度	2025年度
1	本社電力使用量の削減 ※1 (CO2排出量)	kWh	34,086	33,404	31,419 (9,771)	○ 106%	33,745 △ 1 %	33,404 △ 2 %
2	ガソリン使用量の削減 ※2 (CO2排出量)	ℓ	23,766	23,528	23,951 (55,566)	× 98%	23,528 △ 1 %	23,291 △ 2 %
3	工事用軽油使用量の削減 ※3 (CO2排出量)	ℓ	71,631	70,198	47,118 (121,564)	○ 149%	70,198 △ 2 %	69,482 △ 3 %
-	二酸化炭素排出量削減 (No 1～3)※5	kg-CO2	-	-	186,901	-	-	-
4	一般廃棄物の削減	t	939	930	1,087	× 86%	930 △ 1 %	920 △ 2 %
5	産業廃棄物のリサイクル率 の促進 ※6	%	84.4%	91%	98.7%	○	93%	94%
6	上水の節水	m3	503	493	312	○ 158%	493 △ 2 %	488 △ 3 %
7	設備、土木建築物等の環 境性能の向上 ※7	件	2	2	3	○ 150%	3件	4件
8	環境にやさしい施工や工 法の採用 ※8	%	78%	78%	125%	○	78%	78%
9	再生資源の積極的利用	件	9	10	11	○ 110%	11件	12件
10	社用車の燃費向上※9	km/ℓ	18.1	18.2	17.5	× 96%	18.6 △ 3 %	18.8 △ 4 %

※1 対象:電気 CO2排出係数 0.311 kg-CO2/kWh

※2 対象:ガソリン CO2排出係数 2.32 kg-CO2/kWh

※3 対象:軽油 CO2排出係数 2.58 kg-CO2/kWh

※4:達成率 (○:達成、×:未達成)

※5:灯油、LPGは使用量が少ない為 目標設定している項目の合計に含まれない(実質合計は191,155kg-CO2)

※6:リサイクル率は「再資源化量÷総排出量×100%」で算出(3622÷3668×100%＝よって98.7%)

・化学物質使用量……化学物質の使用はない

※7:取組内容…ICTバックホウ0.8m3、ICTマシンコントロールソフト、電動バイクの導入

※8:「元請受注件数÷実施件数×100%」で算出(8÷10×100%＝よって125%)

※9:社用車18台の月別平均燃費を平均化

5. 環境活動計画の取組結果・評価・次年度の取組内容

No.	取組計画	達成状況	環境管理責任者による評価	次年度の取組
1	本社電力使用量の削減 ・昼食時、不使用時の消灯 ・エアコンの設定温度を守る ・パソコンの省エネモード ・ウォームビズ、クールビズ運動 (責任者:総務課長)	○	12カ月のうち未達成月は3ヶ月であり、ほぼ達成できている。気候の影響は大きいですが、社員にも節電や衣服の調節の取り組みがしっかりされていると評価できる。	社内で節電を呼びかけ、天候によりこまめにエアコン調整を行う。
2	ガソリン使用量の削減 ・アイドリングストップ ・エアコンの使用を控える ・タイヤ空気圧のこまめなチェック ・不要な荷物は積まない (責任者:環境管理責任者)	×	遠方現場が多かったので使用量が増えてしまったが、遠方へ向かう際は可能な限りの乗り合いとエコ運転を常に心がけ少しでも使用量を減らせるように呼び掛け、次年度につなげてほしい。	現場別・個人別の使用燃料状況をメール配信するなどして、エコドライブを推進する。
3	工事中軽油使用量の削減 ・重機不使用時のエンジン停止 ・ダンプ等のアイドリングストップ ・重機、ダンプ等のこまめな点検 (責任者:土木部長)	○	今年度は除雪も少なく工事件数も少なかった為、目標の達成はもちろん、使用機械の点検も丁寧に行っており環境活動に対しての評価は大きい。	ハウブリッド重機の使用、アイドリングストップ等を押し進める。
4	一般廃棄物の削減 ・無駄な用紙をなくす ・封筒などの再利用 ・弁当がらをなるべく出さない ・割り箸を使用しない(マイ箸) (責任者:総務課長)	×	こまめに一般廃棄物の測定を行っており信頼できる実績数字と言える。手間ではあるが以降も測定を続け廃棄物の削減に対する意識向上を期待する。	廃棄物の測定を継続することで更に意識を高め無駄をなくし、再利用の徹底を促していく。
5	産業廃棄物の再資源化 ・産廃業者との業務委託 ・産廃の減量推進 (責任者:土木部長)	○	多量排出現場があったものの、リサイクル率は非常に高く、目標を達成できている。持続可能な資源の利用につなげられるよう今後も取り組んでほしい。	廃棄物の分別、可能な範囲での現場内再利用の徹底を促していく。
6	上水の節水 ・水を出しすぎない ・蛇口の確認 ・水漏れの点検 (責任者:総務課長)	○	今年度は現場数が増えなかったのに全体の使用量としては大きく達成した。一時宿舍の生活用水が増えたが呼びかけの効果により抑えられている。次年度も無理のない	事務所内、宿舍において掲示物やメール配信等により節水を意識付ける。
7	設備、土木建築物等の環境性能の向上 ・特定調達品目の購入 ・機械設備、低公害車等 (責任者:環境管理責任者)	○	ICT施工化を促進し、効率的な作業をすすめる。現場での近距離移動に電動バイクを使用し、排気ガス軽減に貢献。	次年度もタイミングを見て車両入替をし、稼働率アップにつなげる。
8	環境にやさしい施工や工法の採用 ・環境を配慮した工法の採用 ・騒音、振動の少ない機械選定 ・粉塵対策、汚濁対策処置 (責任者:環境管理責任者)	○	環境に配慮した工法や機械は日々発展しているので、可能なことではできるだけ取り入れて進めること。	今後も環境に配慮した新たな工法を提案したり取り入れたりする。
9	再生資源の積極的利用 ・再生アスファルト、再生砕石の積極的利用 ・再生資源の積極的利用 (責任者:環境管理責任者)	○	①②ともしっかりと取り組んでいる。常に最新の情報を意識して、①②以外についても積極的に利用すること。	今後は今まで以上に再生資源の利用や、新たな活用方法を提案したい。
10	社用車の燃費向上 ・アイドリングストップ ・エアコンの使用を控える ・タイヤ空気圧のこまめなチェック ・不要な荷物は積まない (責任者:環境管理責任者)	×	年間を通し大きな変動はないが、例年に比べどの月も悪い。燃費の良い車両が不稼働になり燃費の悪い車両が稼働している事も影響している。車両配置を見直し次年度へ向け取り組むこと。	現場別・個人別の使用燃料状況をメール配信するなどして、エコドライブを推進する。

6. 環境関連法規等の遵守状況

(1) 当社に適用される環境関連法規の遵守状況

下記の通り環境関連法規及び条例等を事業所、建設現場ともに遵守しており、違反はありません。
また関係当局より違反等の指摘も過去9年間ありません。

No.	適用される法令等	遵守すべき要求事項	遵守状況
1	産業廃棄物処理法	・処分業者との適正な契約と行許可有効期限の確認	遵守
		・保管場所の掲示板設置	遵守
		・マニフェスト伝票の管理	遵守
		・マニフェスト伝票交付状況等報告	遵守
		自社運搬時の表示、書類携行	遵守
2	建設リサイクル法	・発生抑制(施工方法、資材選択) 再利用、再生利用、再資源化努力	遵守
		・都道府県知事への事前届け出の提出	遵守
		・分別解体の実施と再資源化	遵守
		・発注者への再資源化等完了報告と記録保存	遵守
3	騒音規制法	・特定建設作業実施届出	遵守
		・特定建設作業は敷地境界線において85dB(A)以下	遵守
4	振動規制法	・特定建設作業実施届出	遵守
		・特定建設作業は敷地境界線において75dB(A)以下	遵守
5	フロン排出抑制法	・機器及びフロン類の適切な管理(点検・記録)	遵守
		・回収依頼書又は委託確認書の交付と保存	遵守
6	建築基準法	・石綿含有建材の使用禁止	遵守
		・クロロピリホス添加建材の使用禁止	遵守
		・ホルムアルデヒドに関する規制	遵守
7	オフロード法	・基準に適合した特定特殊自動車の使用	遵守
8	排出ガス対策型建設機械普及促進規定	・排出ガス対策型であることの確認	遵守
9	災害時における応急対策業務に関する協定	・災害発生時、災害応急対策業務のために建設資機材及び労力を提供する	遵守
10	労働安全衛生法 解体・改修工事に伴う「石綿等」の除去作業 (石綿障害予防規則)	・レベル1の場合は、作業開始前14日前までに建築工事計画届を提出	遵守
11	大気汚染防止法	・特定粉じん排出等作業実施届出書の提出	遵守
		・解体等工事に係る調査及び説明	遵守
		・調査結果の現場掲示	遵守

(遵守確認日: 2024年8月31日)

(2) 環境関連訴訟等の有無

環境関連訴訟等に関して過去9年間に1件も発生しておりません。

7. 代表者による全体の評価と見直し・指示

代表者による全体の評価と見直し・指示

見直しに必要な情報		環境管理責任者の報告	代表者による評価	変更の必要性
環境経営方針	環境方針に示された「環境への取組の基本的方向」は現在も適切か	適切である	「環境への取組の基本的方向」は継続する。	☐ 有り ☒ 無し
環境経営目標及び活動計画	環境経営目標、活動計画の達成状況は妥当か ・課題とチャンス ・二酸化炭素排出量削減 ・廃棄物排出量削減 ・水使用量削減(節水) ・化学物質使用量削減 ・自らが施工販売する製品・サービスの目標	未達部門はあるが社員全員が積極的に活動に取り組んでいた。引き続き取組を強化していきたい。	積極的に取り組んだ活動が反映されない結果になっている部門もあるが、全社員の取組に対しての積極性は評価したい。今後も意識は継続しつつ、未達部門の改善を中心に取組に励んでください。	☐ 有り ☒ 無し
その他の環境経営システム	環境負荷に大きな変化はないか	変化なし	概ね適切に運用・取組み等されていると思われます。更に環境CCを充実させ、経営システムに反映できるように努力をして下さい。	☐ 有り ☒ 無し
	環境への取組状況に変化はないか	大きな変化なし		
	法規、条例の内容に変更はないか	適切である		
	法規制は遵守しているか	順守している		
	教育・訓練は実施されているか	実施されている		
	外部からの苦情や要望はないか	環境CCに記載		
	実施及び運用は適切か	適切である		
	緊急事態への準備は適切か	適切である		
	文書・記録の作成と整理は適切か	適切である		
	取組状況の確認は適切か	適切である		
	問題の是正処置は有効か	今年度なし		
	環境活動レポートの内容は適切か	適切である		
実施体制	実施体制は効果的か	適切である。		☐ 有り ☒ 無し
	実施体制に変更はないか	変更なし		
前回の代表者指示事項のフォローアップ	未達部門の目標設定を調整しつつも取組を継続できており、環境活動への意識も向上しています。			
代表者の指示事項	今後も環境負荷低減に向け活動を継続していくこと。			
総合評価（次年度以降への展開を重点に）				
より厳しい温暖化による猛暑が続く中もエアコンの温度調整や日差し除けの活用等、工夫を凝らし環境活動に取り組んでいました。現場のICT化の促進やskp会議の定着等、着実に電子化も進んでいます。次年度に向けてはICT施工の推進はもちろんのこと請求書や施工管理の電子化も進めていますので、副次的メリットに期待したい。またこの取組は今年度未達成だった一般廃棄物量の削減にも有効であり目標達成に向け従業員一丸となり活動に励みます。				
				株式会社 松本組 松本 早正

(注)

- ① 評価は毎年1回(原則として8月)に実施する。
- ② 環境管理責任者はトップの指示内容について直ちに実行に移し、その結果をトップに報告する。
- ③ SDGS認定機関は一般社団法人日本SDGs協会

(マネジメントレビュー実施日：2024年8月30日)

8. 環境への取り組み

①低公害車への変更



②ペットボトルキャップ、プルタブの回収、エコドライブ運転の励行



事務所



現場



③現場における環境への取組み



← 防音防塵養生マット

サイレントパイラー: 油圧式杭圧入引抜機
騒音・振動を発生させない



④事務所における環境への取組



← マイエンザ使用